

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 事業名           | 森(もり)を楽しむ事業                         |
| 事業主体<br>(連絡先) | 伊那市ミドリナ委員会<br>事務局:伊那市役所農林部50年の森林推進室 |
| 事業区分          | (6)産業振興、雇用拡大(イ農業の振興と農山村づくり)         |
| 事業タイプ         | ソフト                                 |
| 総事業費          | 2,852,247円(うち支援金:2,091,000円)        |

### 事業内容

#### 【開催日】

ミドリナカフェ:令和元年7月7日(日)、8月17日(土)、9月15日(日)

森JOY:令和元年11月3日(日)

【会場】市民の森(伊那市ますみヶ丘)

【参加費】無料。ただしミドリナカフェでは状況に応じ昼食代等を実費徴収。

#### 【事業概要】

ミドリナカフェ:講師を招いての山菜、キノコ採り、昆虫採集と講話

森JOY:コンサート、森林・林業関係者等による展示(飲食含む)、間伐・馬搬、森林の利活用に関する事例発表



【森JOY会場の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 森林の魅力を市民に伝える
- ② 森林資源の利活用促進
- ③ 森林・林業関係事業の発展

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①ミドリナカフェは約100人、森JOYは約2,000人の参加者があり、森林内での様々な活動、体験を通じて、森林で過ごす心地よさや楽しさを感じてもらえた。

②ミドリナカフェでの焚き火、山菜やキノコの実食、森JOYでの薪・ペレットストーブの展示やジビエ料理の販売など、森林資源を楽しみながら利用してもらうことで、森林資源の利活用促進に繋がった。

③森JOYには多くの森林・林業関係事業者が出展し、出展者同士の横の繋がりが生まれ、今後の森林・林業関係の産業の発展に繋がった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業は、伊那市50年の森林ビジョン実現のため、人と森林を近づける第1歩としての位置づけである。さらに多くの方に森林に興味を持ってもらうため、今後も同様の取り組みを続けていきたい。

#### ※自己評価【A】

#### 【理由】

森JOY参加者は前年から約30%増加(前年参加者約1,500人)。いずれのイベントにも特にターゲットとしていた子供が多く参加。またアンケート結果では楽しめた、満足した等の意見が多かった。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある